

# 東雲だより2017

暖かくなりましたね。  
先月には殆ど無かった野菜の苗が  
たくさん売っていました。



## 今月のトピックス

### 既存住宅状況調査技術者講習制度特集

- ①2月研修会および見学会報告
- ②「既存住宅状況調査技術者講習制度」特集
- ③荒尾先生寄稿「既存のマンションと新たな生活Ⅴ」
- ④ラボ紹介「ジャパン建材フェア 住まいの温熱環境」



配管展示コーナーに  
積水の新しい樹脂管  
ハイパーの融着実演  
等ができるスペース  
が設けられました

## 2月研修および見学報告



和似美様見学会



便器設置研修



積水社員様見学会



クリナップ様見学会

2月研修会、見学会の実績をご報告します

- 2/3 和似美様見学研修会
- 2/6 東大佐藤教授、筑波大中内教授見学
- 2/7 インストール研修/便器設置
- 2/7 ダイキンヒーバック東京様見学会
- 2/8 TOTO社員様見学会
- 2/9 積水化学工業社員様見学会
- 2/14 クリナップ佐藤社長様見学会
- 2/14 管材新聞様取材
- 2/15 東北企業様見学会
- 2/16 パナホーム様見学会
- 2/17 JBN様理事会兼見学会



# 「マンションへ住み替えチェック」

## 高齢社会既存のマンションと新たな生活Ⅴ

一級建築士 荒尾 博

リフォームやリノベーションで高齢者関連というと、バリアフリー対応、2世帯、3世代住宅ではユニバーサルデザイン対応など語られますが、その主要内容はと言うと段差を無くし、手すりを付けるなど体の動きに対応する対策ばかりが中心になっています。もちろん、この考え方は良いと思うのですが、さらに言えば、インテリアデザインの根幹にも関わる点についても検討することも大切なのです。

### 1. カラーバリアフリーデザイン

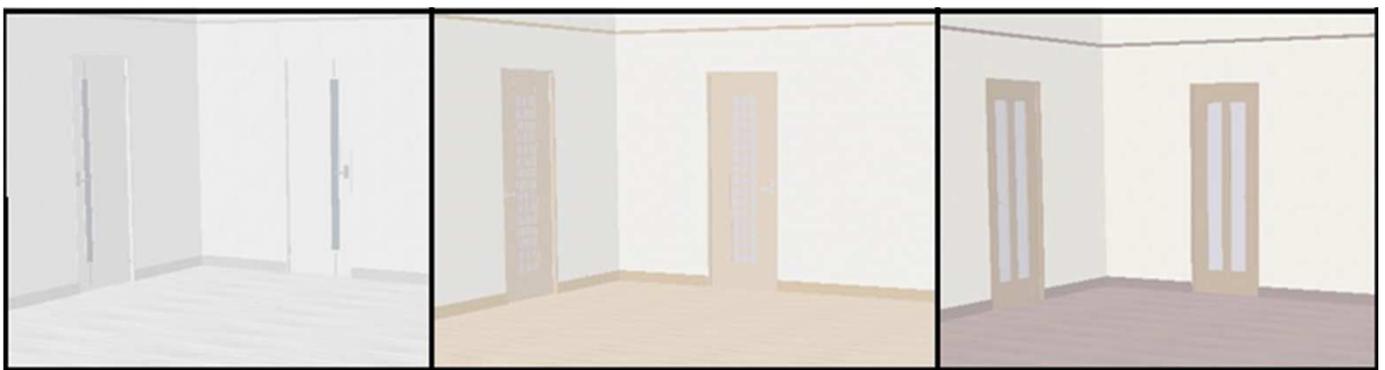
バリアフリーというと身体の中で動作に関わるについて考慮するイメージがあります。確かに高齢者にだけでなく、ちょっとした段差で転びやすくなりますし、健常者でも階段などで転びそうになった経験があると思いますので手すりなど必要なことは確かですので、ユニバーサルデザインという考え方が生まれたのだと思います。

一方、カラーバリアフリーというと、信号やサインなど案内を中心に色彩の違いを判別できる配慮が施される考え方ですが、ここでも誰が見ても判りやすいことは大切なのです。

特に、超高齢社会とも言われ始めている中では、歳が進むにつれて「白内障」の症状になる可能性が高いことを忘れてはなりません。

### 2. インテリアデザインの根幹にも配慮

リフォームにしろ、新築にしろインテリアの各材料の選定は、明るめが良いとか、濃い色で落ち着いた感じが良いとか、多くの場合、施主の好みとデザインアドバイスから選定されていきます。このことは、長く住む空間ですから決して悪いことではなく、大切なことだと思います。しかし、一方で、高齢化した場合のことも考えておく必要があるのではと私は思っています。画1、2、3を見てください。白内障の方が室内を見た感じを想定しています。画1、画2は全体を明るくしたいと床材もドアも明るい色で選定されています。逆に画3は床やドアは濃いめの色で選択されており、壁とのコントラストがはっきりしています。



画1 白内障イメージ A

画2 同 B

画3 同 C

白内障を意識すると明るさを求めたものの、色の差、濃淡などで空間を意識できるようにした方がドアの位置が分かりやすく、室内の事故も減るのではという考え方もあるのです。なぜなら、白内障は誰でも症状が出る可能性の高い老化現象で、遅かれ早かれ発症すると考えているからです。このことはアドバイス時によく説明してバリアフリーの観点からのデザインイメージでリフォームをすることも大切なことではないのでしょうか？

先日、ビッグサイト東1～3ホールで開催されたジャパン建材フェアを見に行ってきました。  
 目的は、会場内で開催される東大大学院の前真之准教授の話を書くためでした。

特に良かったのは、その前准教授が監修して製作した住まい・暮らし方コーナーでの「住まいの温熱環境」に関する展示です。  
 まず入り口からリアルタイムの赤外線カメラの映像に驚かされ、そして腑に落ちる断熱施工のあり方（気密の重要性や部屋の上下温度差の実態など）が説明されています。  
 この展示と前准教授のセミナーが一体になっておりよく理解ができました。

**前 真之氏**  
 1975年生まれ。1994年東京大学工学部建築学科卒業、2003年同大学院修士課程修了、2008年同大学院准教授、空調・通風・給湯・自然光利用など幅広いテーマを研究し、真のエコハウスを追求する。



### 東雲だより3月号”編集後記 ☆ドルチェ☆ — お雛様 —

もう間もなく桜の季節が到来ですね～。私はどの季節も好きだけど、枝の先が膨らみ始めて何となくピンク色に変わってくるこの季節が一番好きかもしれないです。生きていてという感じ、好きです！

まだ桜の花の話題には少し早い頃、東京タワーの近くのお豆腐料理のお店に伺った時、桃の節句の象徴であるお雛様が飾られてとても華やかな雰囲気になっていました。我が家にもお雛様はあった（一応まだある）けれど、結構ズボラな母は「出すのも面倒、仕舞うのも面倒」というタイプで、私の記憶にある限り3回くらいしかお目見えした事はありません。。そしてその貴重な数回も3月3日ギリギリに出して、桜が散る頃まで和室にデーンと出しっ放しにされていたので、やっぱりそれが原因で私も姉も未だに独り身なんじゃないかとさえ思ってしまう（笑）  
 それなので7段飾りを間近で見たのは何十年ぶりだったかもしれないですね～。

昔はもっとあちこちでお雛様が飾られていたような気がしますが、最近はあまり見掛けなくなりましたね。あの頃飾られていたお雛様、どこに行っちゃったんでしょうか？？

4月号の東雲だよりが発行される頃はゴールデンウィーク間近で「もうすぐ鯉のぼりだね～」なんて言っている頃ですね！その頃はすっかり暖かくなっているかな？春は楽しみがたくさん！5月も待ち遠しいですね！

佐藤 深雪



お雛様

お問い合わせは

## みらいエコリフォームセンター

〒135-0062 東京都江東区東雲2-9-7 東京配送センター内  
 TEL.03-3527-5900<代> 営業日▶月～金9:00～17:00 土：応相談

●お問い合わせは  
 TEL.03-3527-5628 FAX.03-3527-6070

